



やさしく
かしこく
たくましく

学校教育目標：心豊かで自ら学びたくましく生きる子どもの育成

今更ながらではありますが、まとめと仕上げ、そして次年度の為に

家庭学習 その2

一緒に考えてみましょう!

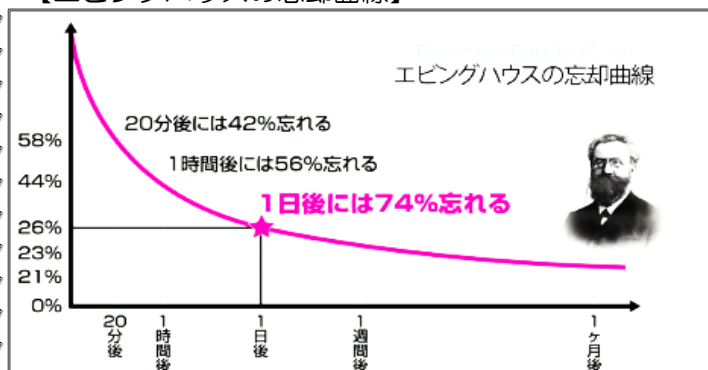
前号、NO. 77で、次のような家庭学習の意義や効果をお知らせしてしました。今回はもう少しお伝え詳しくしようと思います。まずは①学習内容の定着から・・・。

- ① 学習内容の定着・・・学校で学習したことを家庭で復習することにより習熟・定着を図ることができる。
- ② 学ぶ習慣をつける・・・毎日家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身につきます。

学習内容の定着

子ども達の学習、それは毎日学校において5～6時間行う「授業」や学校行事等その他の教育活動全ての中で、学び身につけることが基本だと思えます。しかし、人間の脳には下記のような特性があります。

【エビングハウスの忘却曲線】



このグラフは、**わずか一日ですらで勉強した事の7割以上が忘れられてしまう**という事のデータをグラフ化したものです。

学習でも何でも一度覚えたことは全部ずっと覚えていられれば楽だし、「天才！」になれるかもしれません。ですが残念ながら、私達は一度覚えたことでも、時間がたてばたつほど、どんどん記憶が薄れ忘れていってしまいますよね。(忘れないこともあるでしょうけど。)

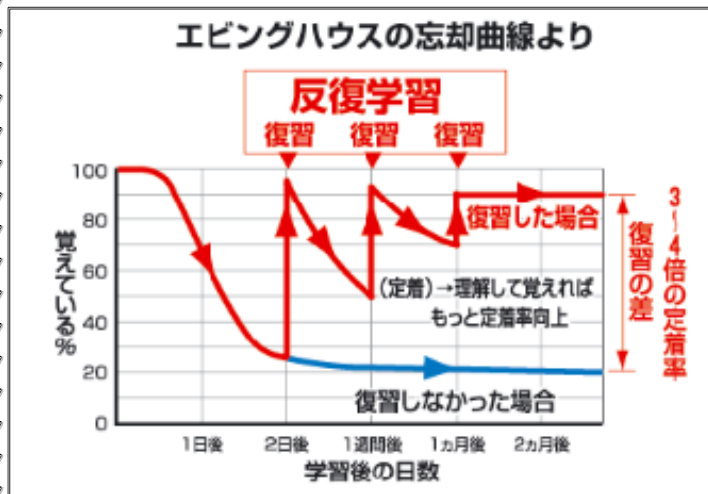
これは脳の神経細胞が「学習」等の刺激を受けると結合が強くなり、刺激がないと弱まったり、消滅したりしていくからなのだそうです。

また、先に「何でも一度覚えたことを全部ずっと覚えていられれば楽」と書きましたが、実はこれはとてもつらく大変なことなのだそうです。

確かに毎日毎日、見たこと、聞いたこと、感じたこと、考えたことから喜怒哀楽までの全てを覚えていて、それが毎日毎年積み重なっていくとしたら大変でしょう。きっと耐えられません。だから、私たちの「脳」は忘れるようにできているのだそうです。

それを防ぎ、強く長く記憶する方法は簡単に言えば2つ。

- ① 強いインパクトを持たせること (大きな感情を感じさせること)
- ② 繰り返すこと



インパクトをもって大きく強い感情を感じた情報や何度も繰り返される情報は「脳の記憶部分」が「これは忘れてはいけないことだ」と認識するので忘れにくくなるようです。

この研究では同時にもう一つの結果があります。それは1度覚えた内容を再び記憶し直す時、**2度目は1度目よりも忘れにくくなる**ということ。そして、3度目は2度目よりも、4度目は3度目よりもというように、覚え直しをすればするほど、忘れにくくなる傾向があるということです。二つ目のグラフは、その一度学習したことを、**何度も復習を繰り返すことにより、忘れにくくなり定着していく**ことを示したグラフです。カラー版でないと見にくいですが、復習しないと1日後でもかなり忘れてしまい、日が経つにつれ記憶は薄くなっていきます。(下方の曲線部分)

一方、**復習を繰り返すと、学習直後の記憶量を取り戻すことができます。**(鋸の刃のようなギザギザの部分) やはり**家庭学習、特に学校の授業で学んだ後の復習は、子どもの学力の定着には欠かせません。**

特に漢字や計算などは、毎日繰り返し練習することで確実に定着していきます。

学校で「わかった」ことが、家庭学習での反復練習によって「できる」という大きな自信に変わります。